

ナノバブル水「根活」

横浜市でイチゴを栽培する徳江菜一さん(44)は、微細な気泡を含んだナノバブル水「根活」を施用してイチゴの生育を安定させている。ナノバブル水が含む微細な気泡が、土壌などのミネラル分を効率良く作物に吸収させ、根の活着が良くなるという。今シーズンのイチゴは、全国的に日照不足による不作だったが、徳江さんは平年並みの収量を維持できた。



製造した「根活」を施用し育てたカボチャの根やと無施用で育てたカボチャの根。施用した方が根が太くなりよく張る。

「根活」は、直径数百ナノの微細な気泡を含んだ水で、アースリンク(神奈川県平塚市)が販売する。生成時に、ミネラル成分を添加することで、気泡を長持ちするようにしたのが特徴だ。同社によると、植物に施用すると成長を促すことが確認されているとい

微細な泡が根に活力

活着良くなり
水揚げ増える

徳江さんは約30年でイチゴを栽培。苗の活着が悪く生育不良だった昨秋に、ナノバブル水を施用することにした。かん水や薬剤散

布に混ぜる他、施肥にも利用。液肥を希釈する際に、水の代わりにナノバブル水を、製播用の機械を導入し、使う。「根の活着が改善され、イチゴ株の水揚げが増えた」と徳江さん。「生育が安定し、5月末でもしっかりと実が付いた」と話す。最初は生成済みのナノバブル水を導入したが、



イチゴの株は、苗の活着が良くなり、生育が安定した。今年、全国的に日照不足による不作だったが、徳江さんは平年並みの収量を維持できた。

資材 ナビ

最初には生成済みのナノバブル水を導入したが、

最も適する。2.1程度まで肥大する。葉の柔らかさは、生食向けの柔らかい品種と加工向けのしつかりした品種の中間。

最も平準化させやすい。全国のJA、種苗店などで販売する。希望小売価格がフィルムコート標準(2000円)で42



田島農事業本

共栄精機製
Eの社名に変
22人(グルー
販売上高398

千葉県須坂市幸

ス

話題の商品

5月収穫に向く

最も適する。2.1程度まで肥大する。葉の柔らかさは、生食向けの柔らかい品種と加工向けのしつかりした品種の中間。